東洋英和楓の会 主催

世界を動かす「表現」の力
― 卒業生 鈴木あづさ 講演会



鈴木 あづさ（作家名：水野 梓）



トークゲスト 酒井 順子

日時 2026年 11月23日（月・祝） 13:30～15:30（開場 13:00）

会場 東洋英和女学院 中高部　新マーガレット・クレイグ記念講堂

入場料 無料 要申込

第一部　講演

「世界の現場で見えた、人間の強さ」

鈴木あづさ

日本テレビロンドン支局長として戦争や社会の激動を取材してきた経験と、作家としての歩みをもとに、極限の状況でも失われない日常の尊さと、人が生き抜く力について語ります。

第二部　トークセッション

「フィクションとノンフィクションのはざまで」

鈴木あづさ × 酒井順子

「事実」を伝えることと「創作」することの違いとは？ エッセイを中心に多彩な表現を手がける酒井順子さんを迎え、現実を言葉にする面白さと難しさについて語り合います。

講演終了後　書籍の販売とお二人によるサイン会を行います。ぜひご参加ください。

Profile

◆鈴木 あづさ（作家名：水野梓）

作家・多摩大学大学院教授・ジャーナリスト。東洋英和女学院高等部、早稲田大学、米オレゴン大学卒業。ケンブリッジ大学客員研究員。読売新聞編集委員、日本テレビ中国総局特派員、ロンドン支局長、BS 報道番組キャスターを歴任。戦争や社会問題を取材し、現在は執筆と教育活動に取り組む。

◆酒井順子（エッセイスト）

1966 年東京生まれ。立教女学院高等学校、立教大学卒業。高校時代より雑誌に寄稿し、大学卒業後、広告会社勤務を経てエッセイ執筆に専念。『負け犬の遠吠え』で講談社エッセイ賞、婦人公論文芸賞を受賞。近著に『松本清張の女たち』『ひのえうまに生まれて 300 年の呪いをとく』。

当日は英和グッズの販売もあります。お楽しみに！

お申込みはこちら

■ お問い合わせ先
kaedenokai@toyoeiwa.ac.jp

東洋英和女学院